



ウチソト

プライベートとパブリックの境界を曖昧にする

ウチソトの行動

【活用イメージ】



ウチソトの誕生

【製品コンセプト】

本来、団地は住民の生活や空間を互いに共有しあうことで成り立っている居住環境であるはずだが、いつしかお隣さん・ご近所さんと関わらない生活が当たり前となり、単に住戸を積上げた建物群になってしまっていないだろうか。

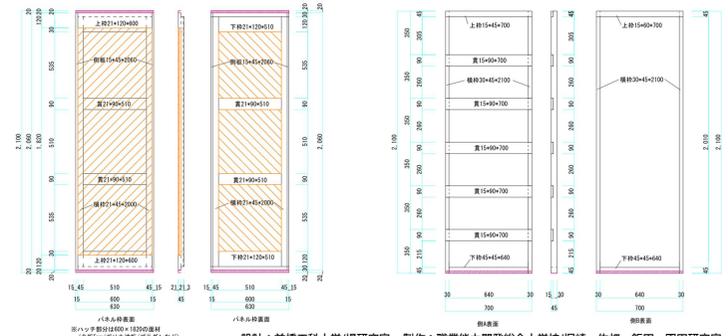
戸建住宅よりもパブリックな要素が多い居住環境だからこそ、イベントや地域活動が活発に行われていた団地の共有空間に惹かれた人も多いはずだが、少子化や高齢化などの社会背景の影響もあり次第にプライベートな空間を重視する声が大きくなってきた。結果的にイベントや地域活動は徐々に縮小し、ひきこもりや孤独死といった社会問題も顕著化するようになった。この偏りがちなプライベートとパブリックのバランスを上手くコントロールできなければ、団地が魅力ある共有空間に生まれ変わることは難しいと思われる。

そこで前橋工科大学堤研究室と連携し、基本700×2,100mmの木製パネル12枚を屋根/壁/机として自由に組合せ組立てる「ウチソト」を試作した。日頃は住戸内の家具/建具として利用するが、イベント時や季節が良い時期には住戸外のパブリックな空間にプライベートな世界を容易に持ち出し設置することが可能になるため、住戸内(ウチ)=プライベート、住戸外(ソト)=パブリックという固定概念は融解する。このプライベートとパブリックの境界を曖昧にする「ウチソト」があれば、これまで住戸内しか魅力を感じなかった住民も敷居を跨ぎ住戸外の共有空間に踏み出す足がかりになるだろう。

そして将来的に「ウチソト」が団地の建具/家具のオプションとして実装される環境が整えば、多種多様な住民が集約した膨大なエネルギーを包含している団地が持つポテンシャルを最大限に活用した交流や連携が増え、団地住民の生活や活動の幅と魅力は格段に拡大するに違いない。

ウチソトの属性

【図面(改良版)】



ウチ
広瀬団地(前橋)
※LIFORT運用中
<https://lifort.net/>



ソト
右: 広瀬団地(前橋)
他: 桜山(藤岡)

